

龍 竜谷通信



令和6年7月
第4号

げんきな子
がんばる子
すなおな子
くふうする子



1年生から6年生まで、さまざまな教科・領域において、チームで主体的に学び合っています

学び方の探究

校長 手島 露子

私が小学校四年生だった頃のことです。クラスにMさんという一人の女の子が転入してきました。実は私自身も、その二年前、他校からの転入生でした。勝手に「転入生の先輩」としての自覚に目覚めた私は、誰に頼まれたわけでもありませんが、Mさんをサポートしたいと思いい立ちました。そこで、私を含む数人のチームで、学級のルール、職員室の場所、休み時間の過ごし方など、できるだけ楽しく、かつ、Mさんに気を使わせないように配慮しながら、伝えたり案内したりしました。Mさんは、とても優秀で、拍子抜けするほどのスピードで吸収し、数日後には、ずっと前からこの学校にいたかのような存在感を放つようになりました。我々のミッションは、早々と完了したわけですが、この数日間、とても楽しく充実していました。なぜでしょうか。

一つ目には、自分で課題を立てたからです。

「Mさんの困り感を解消する」という課題は、他から与えられたものではなく、取り組む必要性があると思いい、自ら設定したものです。

二つ目には、課題解決のための計画や手立てを考えたからです。

いつ、だれが、どのように…と、見通したり、様々に工夫したりすることで、楽しみながらゴールまでたどりつくことができました。

三つ目には、チームで取り組んだからです。

困ったときには助け合うことができましたし、自分では思いつかないアイデアが、友達から提案されることが何度もありました。それは、一人だけで取り組んでいては得られない、貴重な学びの機会でした。

今、本校では、協働的に学ぶ「チーム学習」に取り組んでいます。全員が黒板の方を向き、教師とのやりとりで開始する、受け身型の授業からの転換を図ります。すぐに成果が出るものではありません。様々な課題もあります。この一年、まずは、教師も子供も一緒になって「学び方」そのものを探究するところから、地道に、丁寧に始めています。



地域・保護者の皆様に
支えていただいています



「地域の子供は地域で育てる」。よく言われることばですが、竜谷小学校は、本当に地域の皆様の御支援が手厚いです。

先日もPTAの役員の方々が集まって、昨年度の活動を振り返りながら、今年度の各部会の活動を計画されたり、夏祭りのバザーに向けての準備をされたりしていました。

また、竜谷っ子の登下校時は、いつも地域ボランティアの皆様が、温かく見守ってくださっています。先日は、雨天にも関わらず、「夏の交通安全運動」に何人もの方がご参加くださいました。感謝申し上げますとともに、今後とも、竜谷小学校を支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

竜谷小のツバメさん



竜谷っ子ならだれでも知っている、渡り廊下のツバメの巣。特に5年生の渡り廊下の掃除担当の子たちは、毎日巣の下の掃除をしながら、よく観察しています。

「先生、最近ツバメがじっとしていることが多いよ」とのことです。脚立に上り、そっと写真を撮ってみたら、卵がありました。

産卵の時期は、4月末～7月末頃。3～7個の卵を生み、8月頃に巣立ちの時期を迎えるそうです。産卵から孵化までは2週間ほどで、巣立ちまでは3週間ほどかかるということです。

竜谷小のツバメさんたちが、無事に巣立ってますように。

まなびの 窓

食べることは生きること
給食はみなさんに必要な栄養がとれるように
考えています。
たくさん食べて元気いっぱい過ごして
ください!!

栄養教諭さんからのメッセージ

毎日あたりまえのようにいただいている給食。給食は、昭和29年(1945)に学校給食法というものが制定され、また、平成16年(2004)に栄養教諭制度が創設されているとおり、成長期にあるみなさんの健康を保ち、よりよい成長につなぐ、とても大切なものです。

先日、竜谷小学校にも栄養教諭の先生が訪問指導に来てくださり、各教室で食の大切さについて学びました。

また、その内容を受けて、さらに保健給食委員会のみなさんが、全校に向けて、くわしい提案をしてくださいました。



外出は おうちの方に伝えてから

こちらにも委員会による提案です。代表委員のみなさんが、夏休み前の機会を捉えて、「外出するときの注意点」や「川あそびの危険性」について、低学年の子にも分かるように、寸劇を交えて教えてくださいました。竜谷っ子の大切な命を守る、とても大切な学びとなりました。